

2024年5月21日

2024年ゴールデンウィーク集客動向調査

5類移行後初のGWは行楽日和となり、前年比+7.2%増加

静岡経済研究所（理事長 馬瀬和人）では、「2024年 ゴールデンウィーク集客動向調査」の結果をとりまとめましたので、その内容をお知らせします。

調査結果の概要

1. 今年のゴールデンウィーク期間中（4月27日～5月6日：10日間）に、静岡県内各地で行われたイベントや主要観光施設（243カ所）の集客数は延べ778.9万人で、前年（2023年、726.5万人）から+7.2%増加した。個別にみると、66.7%の施設・イベントで前年を上回った。
2. 今年は、昨年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行された後、初めてのGWであり、天候に恵まれて行楽日和となり、県外や海外からの来訪者が増えた。また、「浜名湖花博2024」や「Meets SHIZUOKA」が新たな観光需要を生んだ。
3. イベントや施設の集客動向（人出）は以下の通りである。

① イベント（21先）	301.3万人（前年比+ 3.2%）
② 交流拠点・商業施設（62先）	339.3万人（前年比+13.0%）
③ 歴史・文化・自然観光（91先）	77.8万人（前年比+ 3.7%）
④ アクティビティ・娯楽施設（69先）	60.6万人（前年比+ 2.6%）
4. 行楽地での消費行動をみると、一部の施設等で値上げにより消費単価が上昇した一方、集客への悪影響はあまりみられなかった。

※本件のお問合せ先 中村 建太

2024年ゴールデンウィーク集客動向調査

～5類移行後初のGWは行楽日和となり、前年比+7.2%増加～

研究員：中村 建太

■今年のゴールデンウィーク期間中（4月27日～5月6日：10日間）に、静岡県内各地で行われたイベントや主要観光施設（243カ所）の集客数は延べ778.9万人で、前年（2023年、726.5万人）から+7.2%増加した。個別にみると、66.7%の施設・イベントで前年を上回った。

■今年は、昨年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行された後、初めてのGWであり、天候に恵まれて行楽日和となり、県外や海外からの来訪者が増えた。また、「浜名湖花博2024」や「Meets SHIZUOKA」が新たな観光需要を生んだ。

■イベントや施設の集客動向（人出）は以下の通りである。

1. イベント（21先）…………… 301.3万人（前年比+ 3.2%）
2. 交流拠点・商業施設（62先）…………… 339.3万人（前年比+13.0%）
3. 歴史・文化・自然観光（91先）…………… 77.8万人（前年比+ 3.7%）
4. アクティビティ・娯楽施設（69先）…………… 60.6万人（前年比+ 2.6%）

■行楽地での消費行動をみると、一部の施設等で値上げにより消費単価が上昇した一方、集客への悪影響はあまりみられなかった。

2024年GWの人出は県内全体で前年比+7.2% 7割弱の施設・イベントで前年実績を上回る

今年のゴールデンウィーク（以下、GW）は、4月27日（土）から5月6日（月・振休）までの期間中、前半3連休後、平日を3日休むと、後半4連休と合わせて最大10連休となった。昨年5月8日に、新型コロナウイルスの感染症法の区分が5類に移行した後、初めてのGWであり、県内の行楽地は多くの人で賑わった。

当所が実施したアンケート調査によると、今年のGW期間中の静岡県内の主なイベントや観光施設243カ所の人出は延べ778.9万人と、前年（2023年4月29日～5月7日：9日間、726.5万人）から+7.2%増加した（詳細は6頁 図表8参照）。期間は昨年より平日が1日多いが、平日の人出は1日当たり平均29.6万人であり、増加日数を勘案しても前年を上回る水準となった。また、施設・イベントごとにみると、比較可能な234カ所のうち156カ所（66.7%）で昨年の人出を上回り、総じて好調だった。

コロナ前との比較では、2019年の水準を“上回った”との回答が19.1%、“ほぼ同水準”が20.4%であったのに対して、“下回った”が60.5%に及んだ（図表1）。19年は令和への改元に伴う平日がない10連休であったため単純比較は難しいが、多くの行楽地は未だにコロナ・ショックから完全に回復しているとは言えないようだ。

好天に恵まれ、県外や海外からの来訪者も復調

集客に影響を与えた事象をみると、プラスの要因としては、「新型コロナ感染状況の沈静化」（64.6%）を挙げる声が最も多かった（図表2）。「天候・気温」（60.0%）も6割に及び、広く行楽日和となったことが観光客の足取りを軽くした。また、独自の広告・宣伝や企画・イベントなど「自施設の取組み」（40.1%）、「メディアやSNSなどへの露出」（37.1%）もプラスに作用した。このほか、大井川流域などをモデル地とするTVアニメ『ゆるキャン△ SEASON3』が放送中で、今年4月に始動した関連イベント「Meets

※1 『Meets SHIZUOKA ～ゆるキャン△×ラブライブ！サンシャイン!!～』：静岡県内をモデル地とするTVアニメ2作品（『ゆるキャン△』と『ラブライブ！サンシャイン!!』）のコラボレーションプロジェクト

SHIZUOKA」※1では、県全域に及ぶスタンプラリーやJR東海の「押し旅」とのコラボなどがGW期間を跨いで実施され、「アニメファンの動向」（15.5%）も賑わいを創出する一因となった。

一方、マイナスの要因としては、「物価高」が33.8%と最も多く、「曜日配列」が24.9%で続いた。物価上昇による可処分所得の減少や、平日を3日間挟んだことが、観光行動を抑制したとみられる。

また、昨年と比べた今年の来訪者の特徴をみると、「県外からの来訪者」がプラスとの回答が48.0%で最多となったほか、「海外からの来訪者」は大幅にプラスが13.1%と目立っており、遠方からの客足の回復ぶりがうかがえる（図表3）。

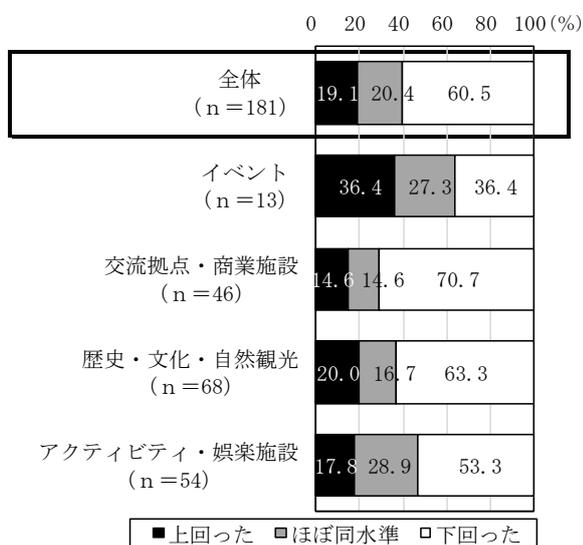
**西部地域は浜松まつりの減少が響いて横ばい
東部地域は7割超が前年超えで人出は+13.7%**

地域別にみると、人出が300万人を超えた西部地域は「浜松まつり」が前年割れで、前年比+0.5%の横ばいとなった。中部地域は同+12.4%の増加となり、昨年を上回る施設・イベントは61.5%であった。東部地域は同+13.7%で、2023年と比較可能な102カ所のうち73.5%で昨年の人出を上回った。

GW期間中、県内で5万人以上を集客したイベントや施設は3頁 図表4の通りである。

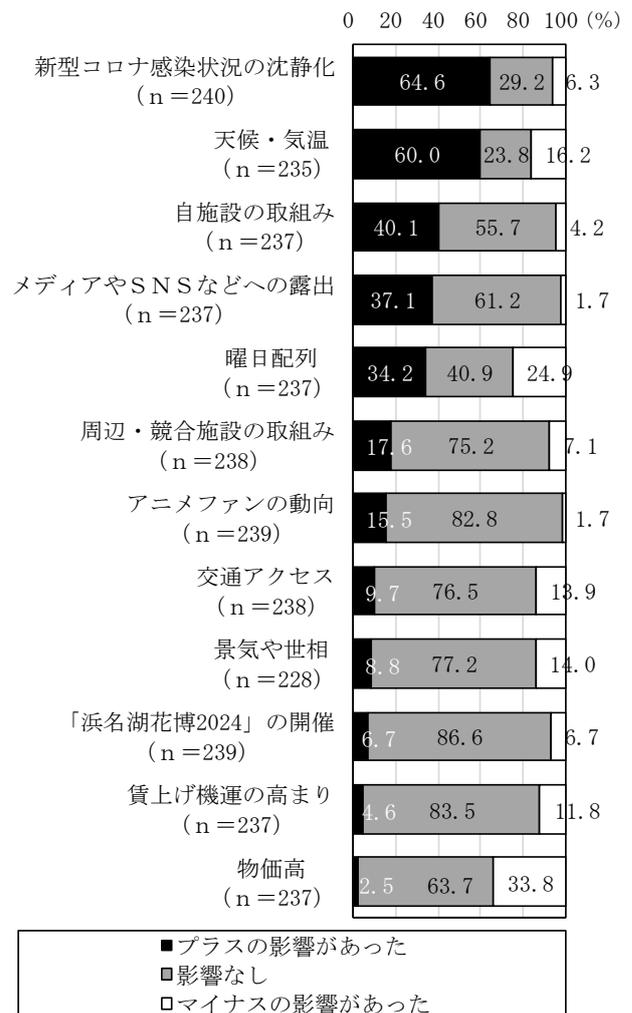
以下では、イベントや観光施設を大きく4つのグループに分けて今年の動向（人出）をみていく。

図表1 コロナ前（2019年）と比べた今年の人出



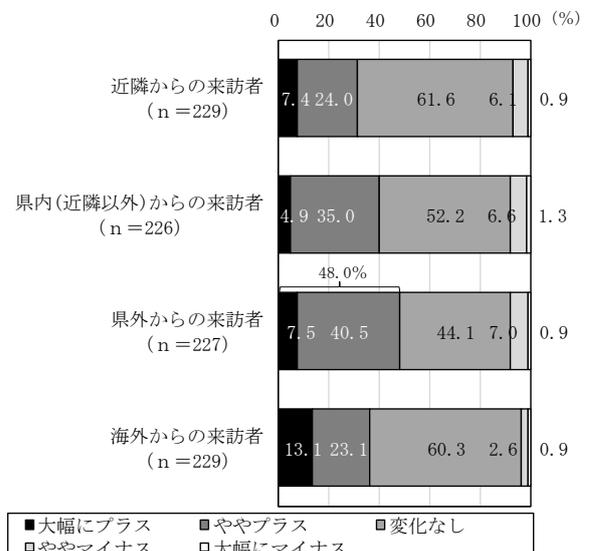
資料：当所アンケート調査（調査方法は6頁参照）

図表2 集客に影響を与えた事象



資料：図表1に同じ

図表3 昨年と比べた今年の特徴



資料：図表1に同じ

※2 「浜名湖花博 2024」の出入：今年の集客数は、浜名湖ガーデンパークとはままつフラワーパークの2会場合計値。前年比の算出にあたり、昨年の値は今年同様に2会場の集客数の合計値とした

図表4 静岡県内のGW 集客5万人以上のイベント、施設

	イベント、施設名	所在地	集客人数	前年比		イベント、施設名	所在地	集客人数	前年比
1	浜松まつり	浜松市	245.3万人	△4.0%	7	富士山本宮浅間大社 流鏝馬祭	富士宮市	8.5万人	+13.3%
2	ラスカ熱海	熱海市	23.1万人	+17.1%	8	ストレンジシード静岡	静岡市	8.3万人	—
3	浜名湖花博2024※2	浜松市	21.3万人	+102.4%	9	三島スカイウォーク	三島市	6.1万人	△15.3%
4	富士川楽座	富士市	14.0万人	+10.9%	10	道の駅 伊豆のへそ	伊豆の国市	5.6万人	+71.4%
5	遠鉄百貨店	浜松市	12.0万人	△13.9%	11	KADODE OOIGAWA	島田市	5.2万人	+7.5%
6	三嶋大社	三島市	9.9万人	+16.8%					

注) データ公表が可能なイベント、施設のみを掲載した
「ストレンジシード静岡」は昨年と集計方法を変更

資料：図表1に同じ

1. イベント (21先)

〔 人出 301.3万人 前年比+3.2% 〕

～コロナ沈静化と好天で賑わい、花博も盛況～

県内の主要イベントの集客数は301.3万人で、前年に比べて+3.2%の増加となった。10年ぶりに開催された「浜名湖花博2024」（浜松市）は、浜名湖ガーデンパークとはままつフラワーパークの2会場合計で21.3万人と、イベントがなかった前年の2倍を超える来場者を集めた（写真）。恒例の「富士山本宮浅間大社 流鏝馬祭」（富士宮市、8.5万人）は同+13.3%、「ながはま特設市」（熱海市、2.9万人）は同+11.7%など、コロナが収束し好天にも恵まれたことで、前年を+1割以上上回るイベントが多くみられた。葉加瀬太郎氏のコンサートツアー等が開催された「静岡市民文化会館」（静岡市、1.7万人）など、人気企画を実施した屋内ホールのイベントも好調だった。



▲写真 多数の行楽客が訪れた「浜名湖花博2024」

一方、GW期間中における県下最大規模のイベント「浜松まつり」（浜松市）は245.3万人で、前年を△4.0%下回り、イベント全体の数字を押し下げた。5年ぶりに会場での飲酒が解禁された“通常開催”で臨時シャトルバスの稼働率も高く賑わったが、2023年のNHK大河ドラマ「どうする家康」に主演した松本潤 氏らが騎馬武者行列を行って過去最高を記録した昨年には及ばなかった。

2. 交流拠点・商業施設 (62先)

〔 人出 339.3万人 前年比+13.0% 〕

～人流回復により、多くの施設で前年超え～

交流拠点・商業施設の集客数は339.3万人で、前年比+13.0%の増加となった。

観光交流拠点 (33先) は前年比+5.1%

「KADODE OOIGAWA」（島田市、5.2万人）では、広場に出店したキッチンカーやハンドメイド店も賑わうなど、晴天の下での企画・イベントが奏功した拠点多かった。また、二輪車での来場者が増加した「清水魚市場 河岸の市」（静岡市、4.7万人）のほか、レンタサイクルを活用した周遊が目立った拠点もあった。そうした中、「三島スカイウォーク」（三島市、6.1万人）は、GW期間中、入場料金を時間で変動させる“ダイナミック・プライシング”を導入した結果、前年を△15.3%下回った。オーバーツーリズム対策として、来場者の満足度向上に重点を置き、混雑回避を優先して入場者数をコントロールした。

道の駅 (18先) は前年比+14.0%

18先中7先が「Meets SHIZUOKA」のスタンプ設置場所となったこともあり、「道の駅 伊豆のへ

そ」(伊豆の国市、5.6万人)が同+71.4%、「道の駅 いっぷく処横川」(浜松市、0.8万人)が同+35.8%など、アニメファンが想定以上に押し寄せたとみられる。「富士川楽座」(富士市、14.0万人)など、その他の道の駅においても、人流の回復に伴って利用者が増加した。

大型商業施設(11先)は前年比+14.3%

「ラスカ熱海」(熱海市、23.1万人)が前年を+17.1%上回るなど、社会経済活動の正常化に伴い、近隣客から外国人観光客まで幅広く利用者が増えた。中部地域ではアニメ関連イベントを周辺競合施設間で相互告知したり、西部地域では花博会場からのアクセスを強化するなど、集客に向けた域内連携が活発化していた。ただし、大型商業施設の8割が物価高によるマイナスの影響を指摘しており、「どうする家康」のイベント効果剥落が重なった大型小売店では前年を下回った。

3. 歴史・文化・自然観光(91先)

[人出 77.8万人 前年比+3.7%]

～家康特需が剥落も、自然・景観スポットが人気～

歴史・文化・自然観光の集客数は77.8万人で、前年比+3.7%の増加となった。

歴史・文化・ミュージアム(55先)は前年比+0.8%

施設ごとにみると、前年比増加と減少が半々程度であった。天気が安定していたことで、屋外がメインの「三嶋大社」(三島市、9.9万人)は前年を+16.8%上回った一方、屋内施設は伸び悩んだ。また、「浜松城」(浜松市、1.7万人)が同△16.3%、開館2年目の「静岡市歴史博物館」(静岡市、1.0万人)が同△48.2%など、徳川家康公関連スポットは昨年大河ドラマ特需から反動減となった。

動植物園・水族館(16先)は前年比+4.9%

「静岡市立日本平動物園」(静岡市、3.2万人)をはじめ、前年実績を確保した施設が半数を超えた。「浜松市動物園」(浜松市、2.8万人)は、隣接するはままつフラワーパークの来場者数増加の恩恵を受けたとみられるが、西部地域の施設では10年ぶりの浜名湖花博に観光客が流れたとの声も上がった。

自然・景観スポット(20先)は前年比+10.3%

天候や海況に恵まれ、「白糸ノ滝」(富士宮市、

2.7万人)や「堂ヶ島マリン」(西伊豆町、1.7万人)を含む海・山の名勝や体験レジャーが観光客を集めた。メディアやSNSなどへの露出が集客にプラスの影響を与えたほか、県外や海外からの来訪者が増えた。特に、海外からの来訪者が大幅に増えたと回答した施設は5割近くに及んでおり、富士山をはじめとする県内の自然・景観スポットは外国人観光客から注目を集めた様子が見える。

4. アクティビティ・娯楽施設(69先)

[人出 60.6万人 前年比+2.6%]

～アウトドアや温泉が活況、映画館は反動減～

アクティビティ・娯楽施設の集客数は60.6万人で、前年比+2.6%の増加となった。

アウトドア施設(25先)は前年比+12.0%

「富士山樹空の森」(御殿場市、4.3万人)や「伊豆ぐらんぱる公園」(伊東市、3.6万人)、「富士山こどもの国」(富士市、3.2万人)など、東部地域では同+25.8%と大幅に増加した。一方、西部地域では浜松まつりや浜名湖花博を優先する人が一定数いたことで、来場者が減少した施設も目立ち、同△12.5%減少した。

スポーツ施設(19先)は前年比+23.1%

「草薙総合運動場」(静岡市、2.4万人)などでさまざまな競技大会が開催され、応援・観戦もコロナ前の活気を取り戻した。「自転車の国 サイクルススポーツセンター」(伊豆市、1.7万人)では、SNSの発信を強化したことが若年層の取り込みにつながった。

娯楽施設(10先)は前年比△23.6%

「シネシティザート」(静岡市、3.0万人)をはじめとする映画館は、『ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー』などのヒット作が揃った前年を軒並み下回った。一方、「ポートレース浜名湖」(浜松市、2.3万人)や「静岡競輪場」(静岡市、2.2万人)等の公営競技は前年をやや上回った。

温浴施設(15先)は前年比+10.8%

コロナ沈静化やサウナブームに加え、好天に恵まれて行楽帰りの利用者で賑わった。「極楽湯三島店」(三島市、1.8万人)では、ホロライブ(VTuber)コラボキャンペーンが好評だった。

図表8 2024年GW 静岡県内イベント、観光施設の入出

イベント、施設名	所在地	入出(人)	前年比	イベント、施設名	所在地	入出(人)	前年比
ラスカ熱海	熱海市	230,863	+17.1%	シネシティザート	静岡市	29,683	△33.2%
富士川楽座	富士市	140,266	+10.9%	草薙総合運動場	静岡市	23,985	+33.2%
三嶋大社	三島市	98,591	+16.8%	静岡競輪場	静岡市	22,290	+0.9%
富士山本宮浅間大社 流鏝馬祭	富士宮市	85,000	+13.3%	I A I スタジアム日本平	静岡市	18,167	△14.6%
三島スカイウォーク	三島市	61,000	△15.3%	静岡市民文化会館	静岡市	16,827	+51.2%
道の駅 伊豆のへそ	伊豆の国市	55,580	+71.4%	静岡市立登呂博物館	静岡市	10,361	+14.1%
富士山樹空の森	御殿場市	43,299	+43.6%	静岡市歴史博物館	静岡市	9,978	△48.2%
伊豆ぐらんぱる公園	伊東市	36,078	+30.5%	道の駅 川根温泉	島田市	8,921	+24.4%
富士山こどもの国	富士市	32,087	+22.0%	静岡県立美術館	静岡市	8,452	+140.0%
ながはま特設市	熱海市	29,179	+11.7%	焼津市文化センター	焼津市	7,560	+9.9%
白糸ノ滝	富士宮市	27,499	+9.8%	清水庵原球場	静岡市	7,039	△6.6%
こいのぼりフェスティバル	沼津市	25,100	+14.6%	瀬戸谷温泉ゆらく	藤枝市	6,859	+13.5%
三島市立公園 楽寿園	三島市	24,155	+5.9%	静岡県武道館	藤枝市	6,792	+10.9%
道の駅 ふじおやま	小山町	21,562	+16.1%	静岡市ふれあい健康増進館 ゆ・ら・ら	静岡市	6,054	+6.2%
伊豆パノラマパーク	伊豆の国市	20,542	+15.0%	ふじのくに茶の都ミュージアム	島田市	5,982	+8.3%
春の大通り商店街まつり	三島市	20,000	+33.3%	西ヶ谷総合運動場	静岡市	5,977	△1.2%
道の駅 開国下田みなと	下田市	19,292	+13.3%	中部地域その他45カ所		1,574,920	—
沼津 みなと新鮮館	沼津市	18,514	△1.1%	中部地域合計		2,080,278	+12.4%
極楽湯 三島店	三島市	17,768	+13.6%	浜松まつり	浜松市	2,453,000	△4.0%
堂ヶ島マリン	西伊豆町	16,581	+45.7%	浜名湖花博2024	浜松市	212,557	+102.4%
自転車の国 サイクルススポーツセンター	伊豆市	16,573	+20.8%	遠鉄百貨店	浜松市	119,690	△13.9%
田貫湖キャンプ場	富士宮市	14,288	+3.2%	アクトシティ浜松	浜松市	49,690	+16.6%
伊豆アニマルキングダム	東伊豆町	14,155	△4.2%	道の駅 潮見坂	湖西市	40,810	+9.3%
酪農王国 オラッチェ	函南町	13,193	+19.1%	浜松市動物園	浜松市	27,745	+6.0%
道の駅 富士	富士市	11,796	+0.5%	ボートレース浜名湖	湖西市	23,038	+4.0%
第45回 みどりまつり	裾野市	11,099	△25.5%	静岡県立森林公園	浜松市	18,000	△41.9%
御胎内温泉健康センター	御殿場市	9,877	+26.7%	浜松城	浜松市	17,281	△16.3%
石廊崎オーシャンパーク	南伊豆町	9,147	△13.1%	航空自衛隊浜松広報館 エアパーク	浜松市	15,585	+16.2%
香陵アリーナ(沼津市総合体育館)	沼津市	9,004	+61.2%	浜松オートレース場	浜松市	15,474	+15.0%
静岡県富士山世界遺産センター	富士宮市	8,889	+24.8%	掛川城	掛川市	9,876	△7.4%
小山町町民いこいの家 あしがら温泉	小山町	6,676	+18.4%	浜松子ども館	浜松市	9,506	+0.8%
韮山反射炉	伊豆の国市	5,763	△10.2%	浜名湖体験学習施設ウォット	浜松市	9,439	+25.5%
伊東温泉けいりん	伊東市	5,275	+14.3%	道の駅 天竜相津花桃の里	浜松市	7,972	+4.4%
富士山天母の湯	富士宮市	5,136	△0.8%	浜松市総合水泳場T o B i O	浜松市	7,899	+26.9%
東部地域その他72カ所		1,133,772	—	道の駅 いっぶく処横川	浜松市	7,547	+35.8%
東部地域合計		2,297,599	+13.7%	とよおか採れたて元気むら	磐田市	6,791	+6.0%
ストレンジシード静岡	静岡市	83,427	—	浜松市楽器博物館	浜松市	6,005	+52.6%
KADODE O O I G A W A	島田市	52,330	+7.5%	竜洋昆虫自然観察公園	磐田市	5,351	+50.1%
焼津さかなセンター	焼津市	48,377	△2.1%	西部地域その他50カ所		347,936	—
藤まつり	藤枝市	47,200	+2.5%	西部地域合計		3,411,192	+0.5%
清水魚市場 河岸の市	静岡市	47,106	+23.7%	静岡県合計		7,789,069	+7.2%
静岡市立日本平動物園	静岡市	31,991	+0.2%				

注1) データ公表が可能で、集客数が5,000人以上のイベント、施設のみを掲載した

注2) 各地域の最下部には、入出が5,000人未満またはデータ公表を不可としたイベント、施設の数字を合算して記載した

注3) 入出の合計値は、今年の実数が把握可能なすべての数値を合算

調査方法: GW期間中の主なイベントや観光・レジャー施設など、559先に調査票を発送、うち243先から回答を得た(有効回答率43.5%)